

Autonomous Learner の育成を目指した「学びの共有」のある授業の創造

授業者 池岡 慎

0 1 学年の授業について

学習環境を充実させ、生徒の外発的動機を高めること、そして学習したことをふんだんに取り入れることのできる言語活動を通して、自ら学び、そして共に学び会える学習集団の育成を目指している。

「個のレベルに応じた授業」の創造。

CALL 教室で行うシャドウイングを一般の教室でも可能にさせる方法として、電子辞書と教材をドッキングさせる。

「学びの共有のある授業」の創造。

通常の授業での言語活動にとどまらず、創造的な言語活動を通して、学ぶ楽しさを共有することを体験させる。

1 指導計画について

Program 7 指導計画（7時間）（教科書 SUNSHINE ENGLISH COURSE）

- 1 時限 本文理解
- 2 時限 音読練習・言語活動
- 3 時限 準備（原稿作り）
- 4 時間 準備（原稿仕上げ）
- 5 時限 練習（アドバイスも含める）
- 6 時限 発表（本時）
- 7 時限 Interview Test



- * 毎時間 Today's menu と自己評価用紙を配布。
- * 本文理解（暗唱）後は、発音クリニックを実施。
- * テストは音読テスト、暗写テスト、英問英答テスト等を実施。
- * Program 終了後は1人1分間のインタビューテストを実施しVTRで記録。
- * 学習の不十分な生徒には、個別指導で対応。
- * TT では、ターゲットなる言語材料の復習が中心。

2 本時の授業について

(1) Warm-up について： 音声付テキストの入った電子辞書を利用した授業

生徒は、授業開始直前から、その日 Q&A の対象となるページのシャドウイングを始める。電子辞書には、英文 + 音声、和訳 + 音声、音声のみが選択できるようになっており、生徒は、自分のレベルに応じたシャドウイングをすることができる。なお、本日の使用教材は、夏休みの課題として購入させたものを再利用している。(3回くらいはアプローチを変えながら利用する予定)

電子辞書に入っているテキストは、以下の通り。

Marcel and the Shakespeare Letters (Pearson Education : Level 1(300words))
ニュー・リスニング・プラス(初級)(正進社)

* 本機についての詳細(機能や開発秘話)は、午後からの分科会で報告する。

* 展開について

生徒はあらかじめ以下のことをノート(左側)に書いて準備をしている。

- * 本のタイトル、日付、曜日、天気、本日の対象ページ、解答番号
- 各質問は5回繰り返す。生徒は、電子辞書内のテキストを見て解答しても良い。
- 各グループで質問の内容と答えを確認する。
- 解答を確認(教師の質問に口頭で答える)する。
- 模範解答配布。(生徒は自宅で、ノートの右半分に質問と模範解答を写す。)

* 本時の Q&A 対象ページ

After tea the two mice visit Professor Baron's flat. There's a small hole near the front door. Henry stops in front of it.

'Here we are,' he says. 'Do you want to go in first?'

'No, no. After you,' Marcel says.

At 5.55 they're in the professor's flat. It's very big, with a lot of old chairs and books. There are some beautiful pictures, too.

'Come with me,' Henry says.

He walks across the floor. Then he starts to climb a very tall bookcase. Marcel is behind him. They go up and up and up for a long time. Then Marcel sits on Charles Dickens's book, *Little Dorrit*. He can hear a lot of fireworks in the street.

'BANG! BANG! BANG!' they go. 'WHEEE! POW! WHOOSH!'

There's a small, white button in the bookcase. Henry smiles at Marcel, and presses it. Suddenly, some of the books start to move.

'Why are they moving?' Marcel says. Then he understands. 'Ah, I understand. There's a safe.'

(2) 本時の発表について

テーマ： 自分の日常生活を紹介しよう！（はじめてのスキットメイキング）

これまで学習したさまざまな表現を取り入れながら、グループで協力して1つの作品を創ることがねらいである。ところどころに入る驚きや聞き返しといったコミュニケーションを継続させる工夫があるところにも注目していただきたい。

生徒にとっては今回のスキットメイキングが初めての体験であったが、辞書を利用したり、議論しながら、生き生きと活動している様子が印象的であった。

上手く演じることができたら（できなくても）大きな拍手をお願いしたい。

* 発表までの流れ

原稿は、宿題として全員に提出させている。（評価のため）

提示する画像は、メールで送る、FD,CD-ROMで提出、写真で提出、学校からデジカメを借りるという対応をした。

今回提出された原稿から、内容が「楽しい」「なるほど」「ユニーク」なものを選んでいる。

各グループは、教室の座席で決定している。

スキットメイキングは全員で行い、長さは1分以上1分30秒以内とした。

辞書の利用は認めた。（紙の辞書、電子辞書：電子辞書の操作指導は1時間行った。）

提出された原稿は、最低限の箇所だけを訂正することを心掛けた。

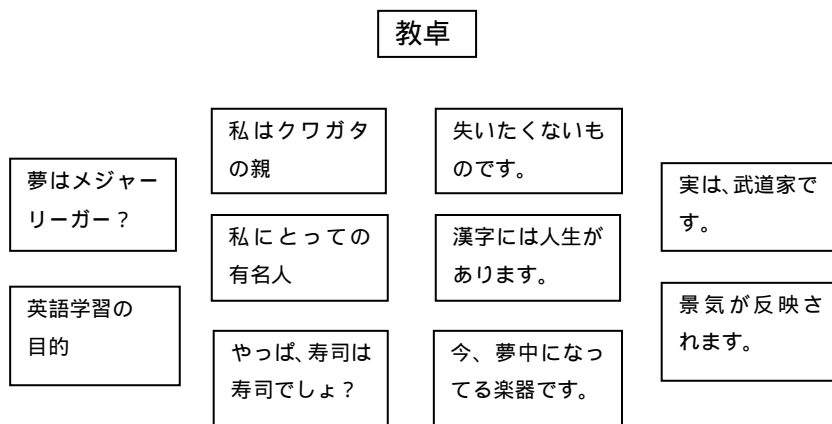
各グループの役割分担は以下の通り。 * 役者は男女ペアとなるように指示している。

準備段階：代表となった生徒が中心となり、全員で作品を完成させる。

演じているとき： 役者A、役者B、助っ人（役者が内容を忘れた場合）、書画カメラの操作

演じていないとき：評価係（今回役者でない人）、集計係（今回役者でない人）

* 各グループの発表テーマ（本日の座席に合わせています。）



（上記のテーマは、スキットの内容から授業者がつけました。）

